

# わんにゃん通信



Vol.65 担当：まき



5月です！！連休のある月です。今年も犬たちとお出かけをする予定です。風邪が治ったらですけど・・・(汗)

皆さんも風邪には気を付けてくださいね★

皆さんはGW どう過ごされましたか？ 休みが終わると次は夏！！夏と言えば熱中症！！

少し暖かくなってきた今からでも注意をしておいた方がいいと思います。



## 熱中症



高温多湿の風通しの悪い環境で、急激に体温が上がり、  
体に機能が破壊されてしまう病気。30分で死に至ることも・・・！

### 起こりやすい時期・状況

高温多湿で、風通しが悪い環境であれば夏場に限らず発生。  
湿度の高い梅雨時や暖房の効きすぎた冬場の室内で発生することも。

日中の晴れた日はもちろん、雨上がりや熱帯夜も危険！

とくに**猛暑は注意**

気温・・・	30℃以上	湿度・・・	90%以上
時間帯	日中 12～15時	雨上がり	熱帯夜など
場所・状況			

- 🐾 直射日光が当たる密室での留守番時
- 🐾 換気不良のお風呂場でのシャンプー時
- 🐾 来るまで待たせているとき
- 🐾 直射日光が当たるハウスの中など

### なりやすい犬



#### 極端に短いカットの犬

あまりに短くすると被毛の断熱効果が失われます。とくに、散歩中は太陽光が直接皮膚に当たり体温上昇のもとに・・・



#### 寒冷地原産の大型犬

被毛が密着しているため、熱をため込んで体温が上がりやすいのです。とくに大型犬は要注意です。

### なりやすい犬



#### 太っている犬

体に付いた脂肪が気管を圧迫して、呼吸をしにくくするため、熱を発散できずに体温が下がりにくくなります。



#### 短頭種

犬は熱いとハアハアと呼吸して熱を発散させます。気道の狭い短頭種は呼吸がしにくく体温が下がりにくいです。



#### シニア犬

7才くらいから体の機能が低下します。体温調節がうまくできなくなるぶん、暑さの影響を受けやすいです。



#### 短足の犬

地面からお腹までの距離が近い  
ため、散歩中など地面から出る  
輻射熱ふくしゃねつを浴びて  
体温が上がりやすい。

# 適切な夏の環境は？

## 温度

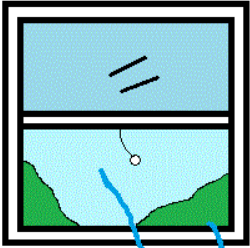


気温 24~27℃の直射日光が当たらない場所  
暑すぎても寒すぎても体調を崩す原因になります。

エアコンをつけるなら設定温度は24~27℃に。

風通しの良い場所なら、多少温度が高くても快適に過ごせます。

また、夏場でも気温が下がる明け方から昼前は、比較的過ごしやすいです。



## 湿度

湿度 50~60%の風通しのいい場所  
犬が快適に思う湿度は50~60%ほど。

しかし、それより多少高くても風通しがよければ、  
犬はそれほど不快には感じてないようです。

ただし、90%を超える湿度は、風通しや湿度に関係なく犬も不快に感じます。

## 飲み水

新鮮で冷たい水がいつでも自由に飲める場所

たっぷり水を飲ませるために、吸水器タイプだけでなく一気にたくさん飲める水飲みボウルでも与えましょう。  
夏場は暑さで水が腐りやすいので、飲み水はこまめに取り換えましょう。

また、冷たい水は、上昇した体温を下げる効果が★ 氷を2~3個入れるなどして冷やしても

**外飼い**は日中日陰になる場所に水飲みボウルを置いて

水飲みボウルは日陰に置き、室内飼い同様、こまめに水を取りすり替えて新鮮な水を与えましょう。

水がすぐに空にならないよう、たっぷり水がいれられる大きめのボウルを用意してあげましょう。

## ハウス置き場

日中でも気温が上がりにくい場所

ハウスは窓際を避けて

たとえエアコンをかけたとしても、直射日光が当たる窓際は、部屋のほかの場所に比べて気温が高くなります。

ハウスは壁際に置きましょう。

一戸建ての場合

室温が上昇しやすい2階は避けて1階へ

飼い主さんが快適であれば犬も過ごしやすいので、ハウスの置き場は飼い主さんが過ごしている部屋がベスト。

ただし、エアコンを使う場合は直接当たる場所を避けて

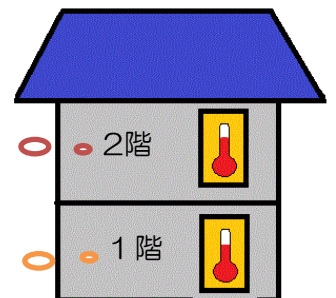
愛犬だけで過ごさせる場合は、2階を避け、北側の部屋や廊下など日中一番涼しい場所に移動してあげてください。

**外飼い**は日中日陰になる場所にハウスを移動させましょう

日中ハウスに日光が直射していないかを確認し、日差しが強いようなら移動してあげましょう。

北側でなるべく風通しのいい場所が良いでしょう。

ただしエアコンの室外機周辺は蒸気が出るので避けてください。



今月は熱中症についてでした。  
ここまで読んでくださってありがとうございます。  
次回もお楽しみください。